

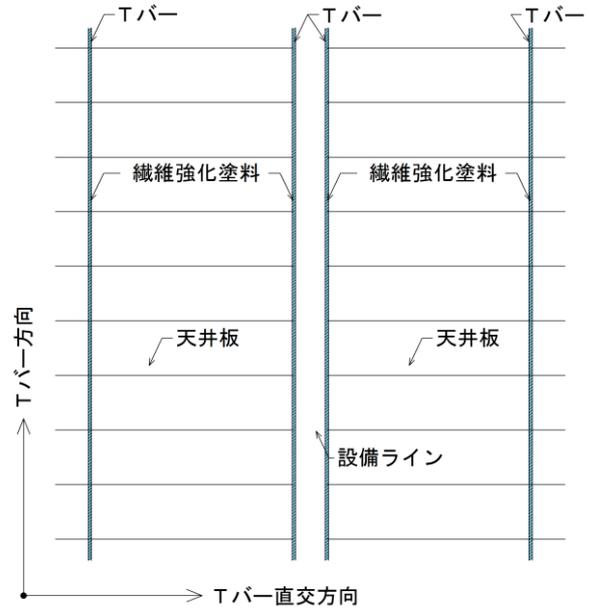
<p><b>【技術の名称】</b>                  鴻池CSFP工法（帯塗くん）1                  ーライン型システム天井用落下防止工法ー（改定1）</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第17-27号 改1                  性能証明発効日：2022年10月24日</p> <p><b>【取得者】</b>                  CSFP工法協会（代表会社）株式会社鴻池組</p>
--	--

**【技術の概要】**

本技術は、既存建築物を対象とした天井落下防止工法であり、繊維強化塗料（短繊維を混入して補強した塗膜塗料）をライン型システム天井の金属製のTバーや廻縁と天井板との取り付け部に跨るように塗布して部材同士を接着・一体化し、地震時の天井面に作用する水平および鉛直荷重に対し、ボード等の天井面構成部材が落下することを防止、もしくは損傷を低減する工法である。

**【改定の内容】**

- 新規：GBRC 性能証明 第17-27号（2017年11月16日）  
 改定1：GBRC 性能証明 第17-27号 改1（2022年10月24日）
- ・帯塗・ワイヤタイプを適用範囲から削除（GBRC 性能証明 第22-20号へ統合）
  - ・工法の主題・副題の変更

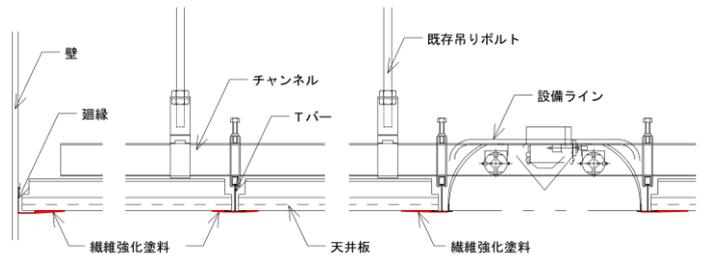


a) 天井見上げ図

**【技術開発の趣旨】**

東北地方太平洋沖地震では、多くの吊り天井が落下し、かつてない規模で人的・物的被害が発生した。これらの被害を防ぎ、企業活動等の中断を極力避けるため、既存建築物の天井落下防止対策が求められている。

本技術は、改修工事が一般に短時間での施工が求められることから、原則として天井内部での作業をなくすことで休日作業を中心とした居ながら改修を可能とし、改修工事におけるコスト、工期の問題を解決するために開発された。



b) 断面図

図1 工法概要図（帯塗・ワイヤレスタイプ）

**【性能証明の内容】**

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。  
 申込者が提案する「鴻池CSFP工法（帯塗くん）1 設計施工指針・同解説」に従って設計・施工された天井落下防止装置は、地震時の作用で生じる荷重に対して必要な耐力を有する。



写真1 繊維補強塗料による塗膜

**【本技術の問合せ先】**

株式会社鴻池組 技術研究所 つくばテクノセンター 担当者：伊藤 真二 E-mail：ito\_sj@konoike.co.jp  
 〒305-0003 茨城県つくば市桜 1-20-1 TEL：029-857-2000 FAX：029-857-2123